[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	災害対策事業	ŧ			事業期間	_	年度 ~ 一	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-6-1	他に関連する 基本事業	2-6-2					所管課係	市長公室課防災対策係
	災害からの被害: 備える。	を最小限に食い止	めるための防災意	識の啓蒙を図り、	市民の生命及び財	才産を守り、普	段から自然災害に	手段 (どのような方法で	当事者意識を高ぬ 冬季の訓練や災害 SNS等を活用し 地域の防災リータ	『種別に応じたメ した情報伝達手段	ニュー、開催回数 の確立を図る。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	全市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	防災意識の向上と	≤迅速な災害情報	の伝達による被災	その最小限化及び災	炎害応急対応の迅速	氢化
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	これまで、こうし	した自助の取り組 NE公式アカウント	みを促し、支援す ・を開設し正確で	るため、さまざま 迅速な情報提供の野	な事業を実施 環境を整備		立支援(町内会への	の働きかけや地域	コミュニティ活動	支援事業補助金	こおける自主防災績		創設(R元年度~)によりR3年度時 i蓄品を整備)

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0	900, 000	100, 000		1, 000, 000	100, 000	200, 000	300, 000	100, 000	700, 000	1, 700, 000
			予算計上額		100, 000	200, 000	300, 000	900, 000	200, 000		1, 100, 000					0	1, 400, 000
			実績額		100, 000	200, 000	300, 000	900, 000			900, 000					0	1, 200, 000
	地 方	ī 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額				0		700, 000		700, 000					0	700, 000
₹			予算計上額		700, 000		700, 000		0		0					0	700, 000
			実 績 額		660, 000		660, 000				0					0	660, 000
れ	一 般	財源	計画額	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	1, 031, 000	1, 138, 000	425, 000	2, 594, 000	608, 000	815, 000	901, 000	608, 000	2, 932, 000	5, 706, 000
_			予算計上額	60, 000	101, 000	392, 100	553, 100	1, 031, 000	488, 000		1, 519, 000					0	2, 072, 100
た			実 績 額	0	894, 138	311, 362	1, 205, 500	959, 823			959, 823					0	2, 165, 323
事	事業費	合計	計画額	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	1, 931, 000	1, 938, 000	425, 000	4, 294, 000	708, 000	1, 015, 000	1, 201, 000	708, 000	3, 632, 000	8, 106, 000
			予算計上額	60, 000	1, 831, 000	592, 100	2, 483, 100	1, 931, 000	688, 000	0	2, 619, 000	0	0	0	0	0	5, 102, 100
業			実 績 額	0	1, 654, 138	511, 362	2, 165, 500	1, 859, 823	0	0	1, 859, 823	0	0	0	0	0	4, 025, 323
費の推	事業費予			賄材料費 14,000円	113,000円、備 蓄品購入 303,000円、ハ ザードマップ 1,415,000円			54,100円、備蓄 品購入	消耗品 27千円 燃料費 30千円 賄材料費 14千円 施設使用料 10千円 備蓄品購入 407千円								
移	前年度予 の比 (増減理	:較		訓練に活用できる資材に余裕があったため前年度といた。	ザードマップ印 刷代を計上した	作成業務が完了		備蓄品購入費の 増	備蓄品購入の減 (前年度ダン ボールベッド購 入)								
	実績との (増減3			新型コロナウイルス感染症の影響で訓練を中止したため。	訓練関係経費の 減。備蓄品購入、 ハザードマップ見 積合わせ、入札に よる減。	訓練関係経費の 減。備蓄品購入 見積合わせによ る減。		訓練関係経費の 減。備蓄品購入 見積合わせによ る減。									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:備蓄品の調達率	指標の求め方:計画に対する調達率を百分率で表す
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:訓練参加者数	指標の求め方:訓練延参加者数
成果指標2(「成果」をもとに設定)	指標名:SNS登録者数	指標の求め方:SNS登録者数

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	П	活動指標 1 計画値	100	100		п п	100	100			100	10年度)	100		11 11	
		(単位/%) 実績値	100	100	100		100									
	指標	成果指標 1 計画値 (単位/人) 実績値	100	150	200		250	300	350		400	450	500	550		
	伝	(単位/人) 実績値 成果指標 2 計画値	2, 400	35 2, 700	59 3, 000		183 3, 200	3, 300	3, 400		3, 500	3, 600	3, 700	3, 800		
		(単位/人) 実績値	2, 496	3, 060	3, 552		3, 886	0,000	0, 400		0,000	0,000	0, 700	0,000		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	ル響難開たいて、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	計さ幸品よ生供い北テ会電期練型スが少らつにりて、 というというというというというというというというというというというというというと	計さ幸品よ生供い石家所と避や給えと学をしていいがうし給。山を運じ難支傷のこと、難たいいがうし給。山を運じ難支傷にこと避ったと響なは、憩に自らの資いを住所。 と 機をとへ物のと に難たい い避分え対のて目民訓のを住所。 の難事、応供考的と練年成 蓄る発、 の難事、応供考的と練年	災は被すお者ウの数市のがえでしま、害、等るりはイ影で民高である。対災をた、新ル響あの傷でたる。 特害最め 訓型スがっ防にいめ 」 乗ら限つ参の全りが窓 たくりつる 「とというできる」というできない。 とりは、	計さ幸品よ生供い南テ会営で者接にこれいがうし給。地イ場をとへ物つといるで実 区でに自らの資いを達 コン避分え対ので目を はまなは ミタ難事、応供者的のとは エー所と避や給えと ユー所と避や給えと エー所と避や給えと成 蓄る発、 ニを運し難支等るし成 蓄る発、 ニを運し難支等るし成	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	世 理 田	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	迎える備蓄品の頭 て、調達について		必要となる備蓄品 い。また、災害か る必要があること	を随時検討し ら命を守るため から、地域防災	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 0 過疎計画掲載

事 業 名	市町村防災行	政無線等整備	事 業		事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	2-6-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課防災対策係
	災害発生時に住員 報伝達システムを		実に災害情報の伝	達を行うために、	複数の手段を組み	・合わせ、災害!	に強い総合的な情	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地理的特性や地質高齢者世帯への	域実情を検討し、 戸別受信機等のP	浸水想定区域への USH型配信機器	屋外スピーカー語 を配備する。	置やスマートフォ	ン、携帯電話を保有していない
対象 (誰・何を対象として いるのか)	全市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	災害情報の伝達の	の確実性が向上し	住民等の早期避難	にも繋がることか	が期待できる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

[DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0		134, 800, 000		134, 800, 000					0	134, 800, 000
投 予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美額 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0		20, 000	7, 448, 000	7, 468, 000	7, 448, 000	7, 448, 000	7, 448, 000	7, 448, 000	29, 792, 000	37, 260, 000
予算計上額				0				0					0	0
ま 績 額				0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	134, 820, 000	7, 448, 000	142, 268, 000	7, 448, 000	7, 448, 000	7, 448, 000	7, 448, 000	29, 792, 000	172, 060, 000
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費						令和7年度予算								
事業費予算の						計上なし								
の一内容														
+#														
推														
移一大大大工工作。														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
実績との比較														
		L	<u> </u>	<u>I</u>	Ц	<u>I</u>								

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:成果指標の設定が困難であることから設定しない

		(第1次実施	-			第2次実施				筆	3次実施4力年計	+1面1		//r = ++0
			_	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	総合計画合計
		活動指標 1 計	画値	, , , , , , ,	, , , , , ,	, , , , , ,			_	_		_	_	_	_		
	指		績値						_	—				_	_		
		成果指標 1 計	·画値						_	-		_	_	_	_		
			績値						_	—		_	—	_	_		
		事業の達成度															
		(活動指標をもとに記	評価)														
		事業の成果	ere (are \														
		(成果指標をもとに言	評1四)														
		事業の効率性 (事業費に対する成績	里)														
			*/														
		総合評価	白	己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				L7141 .	6 C J 101 .	BC7771.	刊即注出。	B C J 1/1 .	B C 7 101 .	B C 7 10 .	刊即建田、			B C J 1/1 .	B C J 1/1 .	刊例在日.	
事																	
-																	
77.6-	評																
務	価																
	内																
事	容	総合評価の	判断														
		理由またはの実績値に	指標														
業		る自己分析	- 120 7														
==																	
評																	
価																	
		 今後の方向性															
		フ核の万円性	DE					DO .				D10 -					
			R5	11				R8 :				R10 :					
	方向性	生の判断理由															
	改善、	改革の内容															
	(K5.	R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	指定避難所再	編事業			事業期間	令和	3年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-6-2	他に関連する 基本事業		-				所管課係	市長公室課防災対策係
	将来における小中 設や他の施設にお			所の適正な配置	- を再検討し、避難所	fの確保を図る	とともに、公共施	手段 (どのような方法で 実現するのか)		難所や公共施設、 の設置、耐震化な 効活用		おける防災機能の充	芒実	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の公共施設及	なびその他の施設						成果 (どのような効果が 得られるのか)	災害時に速やか	に避難できる施設	を確保することか	ヾ できる		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	当市では現在、するの他の指定避難	すべての小中学校だ	が指定避難所とる 一部の指定避難	児童生徒数の減少 れているため、統 諸所では自家発電装	合後は災害発生	主時の避難所収容力	数に不足が出るお	それがあり、今	後の指定避難所の	確保について対応	が必要である。	で実施済みである。	

[DO]

実績

					第1次実施	も3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				C)			0					C	0
			予算計上額				C)			0					C	0
			実績額				C)			0					C	0
	道	費	計画額				C)			0					C	0
			予算計上額				C)			0					C	0
			実 績 額				C)			0					C	0
	地	方 債	計画額				C)			0					(0
投			予算計上額				C)			0					(0
,,,			実 績 額				C)			0					(0
入	そ	の他	計画額				C)			0					0	0
4			予算計上額				C)			0					(0
\$			実 績 額				C)			0					(0
れ	一 般	財源	計画額	0	0	0	C)	182, 000		182, 000					0	182, 000
			予算計上額	0	0	0	C	0	0		0					(0
た			実 績 額	0	0	0	C	0)		0					(0
事	事業	費合計	計画額	0	0	0	C	0	182, 000	0	182, 000	0	0	0	C	0	182, 000
7			予算計上額	0	0	0	C	0	0	0	0	0	0	0	C	(0
業			実 績 額	0	0	0	C	0	0	0	0	0	0	0	C	(0
zitite.				事業費予算なし	事業費予算なし	事業費予算なし		事業費予算なし	事業費予算なし								
費		+ 7 Mr A															
の	争業負	費予算の 内容															
	r	7.0															
推																	
移				増減なし	増減なし	増減なし		増減なし	増減なし								
15	前年度	医予算と															
		比較 域理由)															
	(追溯	3. 理田)															
				古 类 帯 が たい た	古業典がたいた	古業典がたいた		事業費がないた								1	
						事業費がないた め増減なし		事業質がないた め増減なし									
	実績と	の比較															
	(理源	越理由)															

781	K 02 1E 1	9 · 8111111															
活動	抽標 1	(「手段	」をもとに設定)	指標名:指定避算	難所数		指標の求め方:	旨定避難所数									
成	見指標 1	(「成果	」をもとに設定)	指標名:指定避算	難所収容可能人口	カバー率	指標の求め方:打	旨定避難所に収容	可能な人数/人口								
					第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 / 期 総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標	標 1 計画値	12	2 12	. 12		12	12	12	2	12	12	12	2 12		
	指	(単位/	/個) 実績値	12	12	12		12									
	標	成果指		75		.4		75	L	75	5	75	75	75	5 75		
		(単位/	/%) 実績値	81	82	84		86									
		事業の記	達成度 á標をもとに評価)				達成されている										
		事業の															
			ica f標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の変															
			に対する成果)				変わらない										
		総合評値	価				普通である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				字校冉編により	K4年度は指定避 難所数に恋面け	K5年度は指定避 難所数に変更け	指定避難所数に 変更はなく、総	K6年度指定避難 所数に変更がた									
				中学校、令和8	ないが、総人口	ないが、総人口	人口が減ったた	く、総人口が減									
							め指定避難所収										
						定避難所収容可能よりない。	谷可能人口カ バー率は上昇し	避難所収容可能									
				た。次年度以	能人口ガハ一年は上昇した。	能人口ガハ一率は上昇した。	ているが、中学	上昇した。									
事				降、学校再編課			校が統合された										
	評			などの関係部署			が避難所の変更										
	価			と連携を図りな がら、避難所の			に至っていない ため「普通であ										
務				再編について進			る」と判断し										
	容		総合評価の判断	めていく必要が			<i>t</i> = .										
事			理由または指標の実績値に関す	ある。 P2年度は指字器													
			の美領値に関する自己分析	難所数に変更は													
業				ないが、総人口													
*				が減ったため指 定避難所収容可													
				能人口カバー率													
評				は上昇した。													
価																	
			1								-					-	
		今後のス	方向性				現状のまま継続										
				R5: 学校再編により。	会和5年度に中学	校が統合されたこ	レを受け 対争	R8 :				R10 :					
						校か統合されたこ が避難所の変更に											
				また、令和8年月	度からは小学校が	統合されるため、	関係部署と連携										
				を図りながら避り 状のまま継続」。	難所の再編につい	て進めていく必要	があるため「現					1					
	+ + +	44 A 101 Mar	TI	1人のまま継続] (C U/E.							1					
		性の判断 、改革の															
	(R5.	. 以平の . R8、R1	10)														
				ĺ								1					
				ĺ								1					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	河川氾濫防止	事業(駄馬σ)沢川泥溜桝土	砂除去)	事業期間	平成2	3年度 ~ 彳	和12年度				•	1	<u></u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	2-6-3	他に関連する 基本事業						所管課係	土木課維持係
	降雨時や融雪時に 発生を防止する。	こ上流から流出し	、桝に堆積した土積	砂を定期的に除	去することで、正常	な流水の機能	を維持し、災害の	手段 (どのような方法で 実現するのか)	緊急自然災害防止	上対策事業債制度	を使い、業者請負	により、年2回均	推積土砂を除去し	軍搬処理する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	流域の市民及び旅	也設。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	降雨時や融雪時の	の出水に対しても	、災害を防ぎ正常	な河川の機能を約	推持する。	
事業開始時の状況緯	・これまでの経	普通河川「駄馬の	の沢川」は、融雪時	持や大雨による む	出水で大量の土砂が	流出し、下流の	の川底に堆積し流	れを妨げることで、	台風時期などには	は付近の田畑の冠	水や住宅に浸水の	危険があった。		

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画		第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	第 7 期 総合計画 合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債		1, 900, 000	1, 900, 000	2, 000, 000	5, 800, 000	2, 100, 000	_,,	2, 200, 000		2, 300, 000	2, 300, 000	2, 400, 000	2, 400, 000	9, 400, 000	21, 700, 000
投		予算計上額	1, 997, 000	2, 085, 000	2, 200, 000	6, 282, 000	2, 100, 000	2, 200, 000		4, 300, 000					0	10, 582, 000
-		実績額	1, 898, 000	1, 900, 000	2, 090, 000	5, 888, 000	2, 100, 000			2, 100, 000					0	7, 988, 000
入	その他					0				0					0	0
*		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源		47, 000	90, 000	,	167, 000	59, 000	,	60, 000		10, 000	60, 000	10, 000	60, 000	140, 000	436, 000
た		予算計上額	3, 000	5, 000	19, 000	27, 000	59, 000	99, 000		158, 000					0	185, 000
12		実績額	0	3, 000	0	3, 000	47, 000			47, 000					0	50, 000
事	事業費合計		1, 947, 000	1, 990, 000	2, 030, 000	5, 967, 000	2, 159, 000	2, 210, 000	2, 260, 000	6, 629, 000	2, 310, 000	2, 360, 000	2, 410, 000	2, 460, 000	9, 540, 000	22, 136, 000
		予算計上額	2, 000, 000	2, 090, 000	2, 219, 000	6, 309, 000	2, 159, 000	2, 299, 000	0	4, 458, 000	0	0	0	0	0	10, 767, 000
業		実績額	1, 898, 000	1, 903, 000	2, 090, 000	5, 891, 000	2, 147, 000	0	0	2, 147, 000	0	0	0	0	0	8, 038, 000
費			土砂除去	土砂除去	土砂除去		土砂除去	土砂除去								
o o	事業費予算の															
0)	内容															
推																
TA				人件費増により			歩掛改定により									
移	前年度予算と			前年度より増額	前年度より増額		減額	前年度より増額								
	の比較		_													
	(増減理由)															
			入札による減	入札による減	入札による減		入札による減									
	実績との比較															
	(増減理由)															

指標の推移・評価																		
活動指標 1 (「手段」をもとに設定)				定)	指標名:泥溜桝二	土砂除去回数		指標の求め方:泥溜桝土砂除去回数										
成果指標1(「成果」をもとに設定)			指標名:駄馬の沢川氾濫回数			指標の求め方: \$	太馬の沢川氾濫回	数										
				第1次実施3カ年計画			第2次実施3カ年計画					第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期	
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	(当		計画値 実績値	2	2	2 2		2	2	2	2	2	2	2	2		
	標	ルスコ		計画値	0	0	0		0	0	(0	0	C	0		
		_	単位/回) g 業の達成度	実績値	0	0	0		0									
		(活	ĸの産成及 動指標をもとに ≹の成果	評価)				達成されている										
		(成	果指標をもとに	評価)				変わらない										
			能の効率性 業費に対する成	(果)				変わらない										
		総台	合評価					良好である										
	事務事業評価		総合評価理由またのの自己分析	の判断標はに関す	川の氾濫はな く、農なの一 をはながある。 た。今後も継続 的な事業の実施	川の氾濫はなの 会しまながまれる。 まなが果めくある。 た。 がより がなり がなり がまれる。 がまれる。 がまれる。 のいまれる。 のいまれる。 のいまれる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい	川の氾濫はな く、農地への一 まなくがあった。今後も継続	の沢川の氾濫は 一度もないた め、「良好であ る」とした。	川の氾濫はな く、農地への被 害もなく、一定	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性現状の				現状のまま継続												
		R5: 泥溜桝にはこれからも定期的に土砂が溜まっていくため、引き続き						R8 :			I	R10 :						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			泥溜桝にはこれが 事業を行っていく	からも定期的に土 く必要があること	砂が溜まっていく から「現状のまま	ため、引き続き継続」とした。											